

書塾の仲間たち

第 278 回

いちご書道会 (神奈川県横須賀市)



消しゴムはんこと書のコラボ作品

●書塾からひとこと●

私が書道講師として勤務していたキッズカルチャー教室が突然閉鎖することになり稽古を継続したい子どもたちのために、昨年11月に私の好きな果物の「いちご」と「二期一会」のその時を大切にしよう、という二つの意味を込め、一念発起して「いちご書道会」を発足させました。

現在の会員は小学生10名、中学生2名、高校生1名の計13名です。週一回のお稽古で月三回は、月刊「書写書道」の課題のお手本をよく見て美しい字を書くことを学んでいます。昇級・昇段とともに写真版に載ることを目標にしていますが、昇級しなくても「自分の名前が載っている!」ということが皆、嬉しく、意欲を高めてくれているようです。

清書提出後の月末には、お手本から離れ、自由に表現を楽しむ時間や墨液を使用するのではなく実際に墨を磨るところから体験してもらう時間を設けています。「カレンダー制作」や「消しゴムはんこと書のコラボ」も好評でした。書を通して広がるさまざまな世界を体験して、感受性豊かに育つように努めています。

私は講師をして丸四年になりますが、初めは思うように書けず悔しくて泣いていた子が、三年経った今、ものすごく集中力がついたことに驚かされました。とりわけ、自分の気に入らない点があっても素直に受け止め、熱心に書く姿に子どもたちの成長を感じ嬉しく思います。

書道はすぐに上達しなくても続けることで集中力や忍耐力が付き、上手く書けた時の達成感や自信につながるのだと、改めて子どもたちから教わりました。これからも子どもたちの時間を大切に、楽しみながら一人一人の成長過程を長い目で見守ってまいります。多くの習い事がある中で、書道を選び通ってきているので、お稽古の一つでも多く書道の魅力に気付いてほしいと願っています。何よりも私自身が通いたいのと思う会にするために、これからも子どもたちとともに学び、精進してまいります。

いちご書道会 前田和恵

※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。



小五宮ざわ 青奈



また作品が美術館にかざってもらえるようにがんばります
東京都大田区立六郷小学校五年 宮澤 青奈

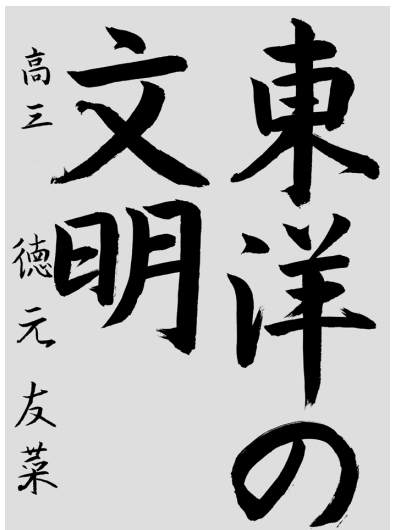
私が書道を始めたきっかけは、学校の書写のじゅ業で、それまでこう筆だったのが三年生になって毛筆に変わり、筆の動かし方がよく分からず、書道教室できちんと習いたいと思ったからです。また、私は、毎年、一月はじめにある学校の書き初め大会で一年から六年まで連続してクラスの代表として、大田区てんへの出品作品に選ばれることを目標にしています。一、二年生の時はこう筆の作品は、どちらもクラス代表に選ばれました。目標を達成できるよう、川鍋薫先生の教室で書道を教えていただくことにしました。

習いはじめてすぐに、筆の動かし方やコツを知り「はらい」や「はね」が前より上達したと思います。毎月の試験に合かくして次の級へ進めるように、先生が「毎月の字」のお題に合わせてお手本を書いてくれたり、ポイントを教えてくれるので、教えていただいたように「とめ」「はね」「はらい」や文字のバランスなどの細かいところに気をつけて取り組んでいます。また、おけいこに通い続けたことで、集中する力が身に付いたように思います。

三年生と四年生の冬休みには、書き初め大会にむけた書道教室での特訓や家で何まいも練習した結果、大会当日も落ちついて書くことができ、無事に毛筆でもクラス代表として区でんに出品されました。また、四年生の時の書き初め作品は都の代表に選ばれ、都てんに出品されました。東京都美術館にかざられた自分の作品を見て、何よりもうれしく、これまで一生けんめい書道に取り組んできてよかったと思いました。

これからも大好きな書道を続けて、またいつか、都てんに選ばれるような作品が書けることを新しい目標にして努力します。

私と書写書道 第278回



高三 徳元 友菜



私を支えてくれる大切な「力」
東京都立伯江高等学校三年 徳元 友菜

私は高校生になってから書道を習い始めました。弟も始めると聞いて自分も興味をもったことがきっかけです。最初に取り組んだのは、小学校一年生の課題でした。高校生から始めるとはいえ、何ごとも基礎の基礎から取り組むことが大切だと思い、一画ずつ筆を動かすところから始めました。そして実際に筆を握ってみると、単純に見える平仮名ほど、筆を入れる角度や止めるタイミングが難しく、自分の思い通りにはなかなか書けませんでした。手本を細かく観察し、どこで筆を浮かせ、どこで力をいれるのか、一瞬の動きに意識を集中させる必要があります。一枚書き終えるたびに自分の字と手本を見比べ、修正してはまた書くことを続けました。その繰り返しに没頭する時間は、私にとって自分自身と向き合う大切な時間になりました。

書道を習い始めて自分で一番成長したと感じるのは「集中力の向上」です。以前は何か一つのことにも長い時間取り組むのが苦手でしたが、書道を通じて、線の太さや払いの方向などにも意識を配り続ける粘り強さが身に付いてきたと思います。高校三年生なった現在は、この集中力が日々の勉強にも活かされています。難しい問題に直面しても、焦らず基礎から一つひとつ紐解いていく姿勢や、納得いくまで机に向かい続ける忍耐力は、丁寧に練習し続けた経験があったからこそ培われたのだと実感しています。

書道を通して得たものは、目の前の課題にじっくりと腰を据えて取り組む姿勢です。一文字を丁寧に仕上げるために培ったこの集中力が、これからの生活において、私を支えてくれる大切な力になると確信しています。